

保育料無料化

環境整備の努力強調

市議会 市長、公約めぐり答弁

定例旭川市議会は六日、代表質問を続行。菅原功一市長は三期目の公約として掲げた第二子目からの保育料無料化の実施について、「延長保育や預かり保育など保育環境の整備などに取組んだ」と説明した。能登谷繁氏（共産）に答えた。

(西出真一朗)

市長は「道内主要都市五十一項目のうち、四十の中でもっとも軽減を図七項目は実施中で、二項目は調査中、残り二項目は未着手としている」と答弁。また、小学一年生の三十三人学級の整備は、「一年生学習支援事業に取り組んでいる」として理解を求めた。

市企画課によると、市長は「関係業界や関係機関、団体とも十分に連携し、中長期的に取り組まなければならない」としに市商工観光部に職員をた上で、経済活性化について「専門的に担当する職員の配置も必要と考えが続く旭山動物園に、新

経済活性化へ 連携強化こそ急務

論戦から

六日の市議会代表質問

で、菅原功一市長は地域経済活性化に専門職員を配置することを表明した。重要課題に職員を配置する狙いは理解できるが、活性化に本腰で取り

たに管理職を配置するなとして体制強化を図る方針を示した。国民保護法の施行に伴って設置される国民保護協議会委員の選定方法については、市長は「知識または経験を有する者については公募する」とした。渡辺雅英氏（社民）に答えた。市議会はこの日代表質問を終え、七日から大綱質疑を行う。

物公園で運営する複合飲食施設「フードテラス」。助成金を出した国は、市に指導力を発揮して運営を軌道に乗せるようにとくきを刺したものの、数カ月にわたって休業する店があるなど期待された効果にはほど遠い。経営不振は三者の連携が取れていないことが大きな要因だ。同施設が中心市街活性化事業の核という視点に立てば、市はタウンマネジメント機関(TMO)の商工会議所と人事交流をしたり、同じ執務室で立て直し策を検討するなど工夫の余地はあったはずだ。下地のないところに専門職員を配置しても、狙った効果は期待できない。地域ブランド戦略という新事業も担うのなら、なおさらだ。市は関係機関とどうすれば連携がうまくいくのか、過去

の失敗を謙虚に受け止めて知恵を絞ってほしい。そうでなければ、「専門職員は鬼子になりかねない」という内外の批判は、現実的なものとなる。(森井泰博)

まち

旭川

(8日) ☆ウオーキングアドバイスデー 午後1時30分、おひつた

☆旭教大吹奏楽団第26回定期演奏会 午後6時30分、市民文化会館

東神楽

(8日) ☆交流プラザつじ館 子育て教育相談(午前10時) 老連総務部会(午後1時30分)

東川

(8日) ☆めだかのクラブ第11回ミーティング

☆めだかのクラブ第3回 午後2時40分、第三小 ☆めだかのクラブ中央